平成28年度の主な事業

先日、平成27年国勢調査の人口速報が発表されました。全国的に減少傾向にあり、宮崎県は110万4千377人と前回結果を3万856人下回り、本町でも、704人減少した1万7千388人という結果でした。

このような人口減少に歯止めをかけ、少子・高齢化に的確に対応するため、「新富町人口ビジョン」及び「新富町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

これからは、しごとを生み、そのしごとがひとを呼び、そのひとを活かすことでさらにしごとを呼び込む好循環を確立し、その好循環を支えるまちを創り出す「しんとみ創生」を強く推進していくことになります。

いよいよ来月は、「総合交流センター」が開館します。

新富町は、そのコンセプトである「交流」をキーワードとして、人と人、人と地域だけでなく、これまでの取組みと「しんとみ創生」をつなげ、その効果を結び広げることでよりよいまちづくりに挑戦していきます。

■総合交流センターの活用

4月開館の総合交流センター「きらり」の蔵書購入や施設整備のほか、展示企画やイベントなどを通して、人と人、人と知識、人と町がつながり交流できる「交流拠点」として活用します。

■就農支援交付金の交付

農業の持続的発展と活力ある新富町の構築を図るため、農業後継者に対し交付金を交付します。これにより、農業後継者の確保や就農意欲の増進、担い手の育成等を図ります。

■健康増進事業

国民健康保険加入者で20歳以上の方を対象に、40歳以上で受診する特定健診と同内容の健診を実施するほか、消防団員（国保加入者に限る）を対象とした健診を、夏季訓練大会で実施することで、早期発見や受診率の引上げをねらいます。

また、高齢者ソフト食の普及推進や食育のため、各地区のいきいきサロン等で調理実習を行う等、町民の健康増進を図ります。

■避難タワーの建設

▲平成27年度は、横江地区にある消防団第3分団第12部機庫の屋上を避難施設として建設（上は完成イメージ図）。

災害時、特に津波発生時の避難場所として五反田に避難タワーを建設し、災害に強いまちづくりを行います。

■3本のしんとみ創生

しんとみ創生推進事業交付金

「農業と観光」「地域住民と観光客」など、様々な地域資源や産業と、観光を掛け合わせマッチングし、相乗効果を創り出します。

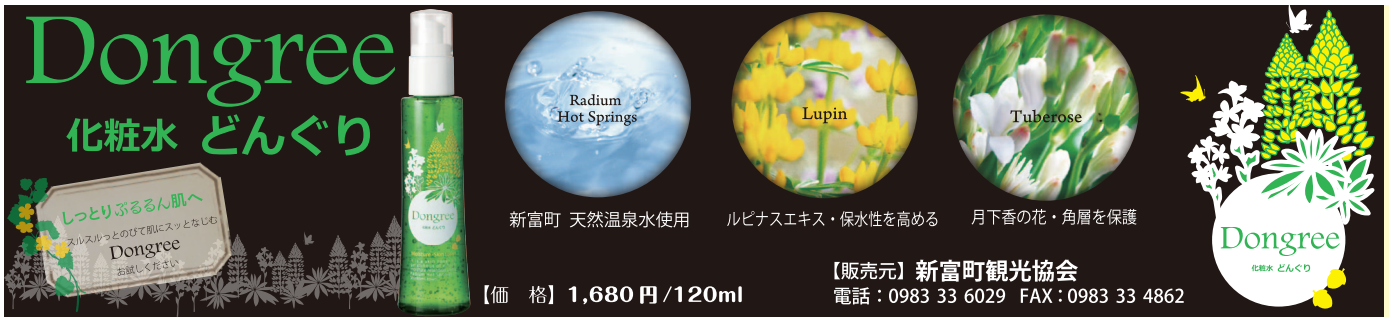
▼富田浜の艇庫兼合宿所。様々な大会等を呼び込み、スポーツ交流人口の増加をねらいます。

しんとみアグリブランド創生事業補助金

農畜産物及び加工品等を広く県外にアピールすると共に、新富町の魅力も発信します。

オールしんとみ創生アピール事業補助金

全ての産業、地域、住民が連携して新富町をPRし、さらに、商工業育成及び地域活性化を推進します。



有料広告